

R7. 人権だより第4号

こんにちは人権委員会です。学校行事が盛りだくさんだった2学期もあと少しですね。3年生は自らの進路と学校行事の二刀流お疲れ様でした。そして、今も進路実現に向かって頑張っている3年生、応援しています。人権関係の行事としては、10月24日に「人権教育講演会・人権集会」、11月14日・21日に「人権・同和教育ホームルーム活動」を実施しました。人権だより第4号は、これらを中心に紹介します！

人権教育講演会（10月24日）

「視覚障がいを乗り越えて：トライアスロンへの挑戦～出会い、理解、練習、出場許可、そして完走までの道のり～」を演題に西予市明浜支所地域生活課の浅井裕史さん、八幡浜市佐々木鍼灸院の佐々木一明さんに講演していただきました。浅井さんが全盲の佐々木さんと出会ってからの心の変化や、中島トライアスロンへ挑戦するまでの道のり、お二人での練習などについてお話していただきました。トライアスロン挑戦までの険しい道のりを乗り越え、二人三脚で見事完走したお話を聞くと感動し、胸が熱くなりました。また、視覚障がい者の立場としての困りごとやサポート方法についても教えていただきました。

☆生徒の感想

病気は以前読んだ小説に出てきたので知っていました。練習中はまだ光が残っているのですが、見えるか見えないかという状態では感覚もつかみづらいはずなのに、さらに全盲となってからもトライアスロンに挑戦しようとした志に感動しました。世の中には「やってみたい」→「でも難しいからあきらめよう」となる人が多いと思うため、行動にうつした佐々木さん、支えた浅井さんはとてもすごいです。私も何事にも恐れず挑戦していきたいです。（11R生徒）



☆保護者の感想

宇和高生のために、一生懸命に話をしてくださったお二人に感謝しています。佐々木さんの「やりたいことをあきらめずに」という言葉は、生徒一人ひとりの心の中に刻まれたと思います。お二人の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

☆関係機関の方の感想

全盲でありながらも58歳でトライアスロンに挑戦しようと思いトライし続けている佐々木さんの姿に感動しました。それを支える浅井さんもすごいと思う。また「してあげる→成長させてもらった」という浅井さんの意識の変容が素晴らしいと感じました。

人権集会（10月24日）

人権集会では、まず人権ポスターの優秀賞の紹介を行いました。次に人権標語の優秀賞の発表後に受賞者が作品に込めた思いを発表しました。人権作文の発表では、23Rの紀伊野さんが「支え合うことの大切さ」を自身の経験を通して発表しました。講演会と重なる内容であり、学びを深めることができました。その後、オペラ「あん」に関わる交流や福岡市で開催された全国高校生集会・青年集会などの活動報告を行いました。



【人権作文発表・活動参加報告】

人権ポスター



☆最優秀 西岡さん（12R）

○優秀 河野さん（12R）

兵頭さん（12R）

山西さん（13R）

人権標語

☆最優秀作品

此平さん（31R）

「大丈夫？ その一言を 言う勇気」

木田さん（21R） 「なにげない その言動にも 責任を」

松本さん（22R） 「そばにいるよ 未来を照らす 言葉の灯り」

※西岡さん・此平さん・笠岡さんの作品は令和8年度の「西予市人権カレンダー」に掲載されます。

○優秀作品

笠岡さん（13R） 「個性という 色で描く 私たちの未来」

人権・同和教育ホームルーム活動（11月14日・21日）

1年生は私たちと人権II～自分の周りに目を向けよう～を主題に、各クラスが「インターネットによる人権侵害」について学習しました。情報発信には守るべきルールやマナーがあること、自分や他者の人権を守るために配慮すべきことなどを考えました。2年生は人権獲得の歴史II～水平の旗ひるがえる～を主題に、水平社宣言や愛媛の水平社運動に携わった先人の活動を学び、差別解消のために今の自分がすべきことについて考えました。3年生は差別をなくす生き方II～結婚差別の解消に向けて～を主題に、結婚差別解消のために正しい知識を持つこと、差別に直面した時の対応や解消に向けた実践力について学びました。



☆人権に関する行事

1月9日（金）：人権・同和教育ホームルーム活動（3年生）

2月13日（金）：人権・同和教育ホームルーム活動（1・2年生）